WEB を用いた研修の有用性について
－WEB 会議専用ソフトと WEB 会議専用機器を比較して－

椿井富美恵、今井尚志（国立病院機構宮城病院 ALS ケアセンター）
照喜名通（沖縄県難病相談・支援センター）

研究要旨

全国の難病相談支援センターは、平成 15 年から各県ごとに配置されたが、運営主体や職種は多様で県により相談対応にはバラつきがあり、地域格差が見られる。全国の難病相談支援センター支援員の研修方法として WEB を用いた研修が有効可能かどうか検討した。今年度は、パソコンで WEB 会議専用ソフトを使用する方法と WEB 会議専用ハードを利用し、その両者の長所・短所を比較検討した。

A. 研究背景

全国の難病相談支援センターは、平成 15 年から各県ごとに配置されたが、運営主体や職種は多様で、県により相談対応にはバラつきがあり、地域格差が見られる。特定疾患患患者の自立支援体制の確立に関する研究班（研究代表者：今井尚志）では、平成 20 年度から 22 年度の 3 年間で、①将来の記録や統計の統一化のため電子相談票の開発、②支援員向けの難病相談 Q&A 集の作成、③就労支援のための小冊子作成、④スキルアップのための研修の在り方の研究を推進してきた。

B. 研究目的

研修の在り方として、WEB を利用した遠隔相談・研修の有用性について検討する。

C. 研究方法

WEB 会議専用ソフトと WEB 会議専用機器を利用し、両者の長所・短所を比較する。

1）WEB 会議専用ソフト：V-CUBE

2）WEB 会議専用ハード：パナソニック社製（HD 映像コミュニケーションシステム）

D. 結果

WEB 会議専用ソフトと WEB 専用ハードの構成内容と費用について比較した。

E. 考察

いずれもインターネット環境は必要であるが、WEB 会議専用ソフトは映像や音声の課題はあるものの比較的安価で、増設しやすく、個別相談や少人数会議には使用可能であった。一方、WEB 会議専用ハードは初期投資や設置の課題はあるものの、高品質・高画質であり、音質、臨場感共に申し分なく、各種講演・研修会など、大人数の会議に対応可能であった。しかし、WEB 会議専用ソフト、WEB 会議専用ハードのいずれの方法でも、大学や公共施設でセキュリティーや設置に関する課題は残った。

F. 結論

今後の研修開催方法として、パソコンの WEB 会議専用ソフトと専用ハードのいずれも、使用状況を考慮すれば有用な方法である。